

「クラス紹介」

1年A組 常田菜々子・関なつみ

私達の1-Aには良いところが沢山あります。それでは、1-Aの良いところを紹介します。

1つ目のいいところは、『仲が良い』ところです。男女関係なく接することができます。

これまで、色々な行事や学校生活でクラスの人々と協力したり、団結したりして、色々なことを成し遂げて来ました。なので、みんなと仲良くなれました。これからももっと仲良くなって、色々な事があると思いますが、乗り越えていけると良いです。

2つ目のいいところは「人の意見を最後までしっかり聞ける」ところです。意見を聞いているときは、途中で口を挟まず意見を言い終わるまで待ち、言い終わったところで質問などを聞くことができます。その意見をもとに話し合いをするときも、お互いの意見を否定したり貶したりせずに話し合いをすることもできます。なので、意見が出しやすく、あまり堅苦しくないのも、とても楽しく安心して話し合いに参加することができます。

3つ目の良いところは『雰囲気がとても明るくて、個性的』なところです。クラス全体的に雰囲気明るく、教室にいると自然に笑顔になれます。ほかに一人の子がいたら声をかけられたり、嬉しいときはみんなで喜んだりすることができ、何よりクラス全員男女関係なくとても仲が良く、すごく楽しく学校生活を送ることが出来ます。

そして普通のことかもしれないけど、継続力のある人、受容力のある人、慎重性がある人、親密性がある人、行動力がある人などいろいろな人がいます。でもそんな色んな人と関わって、たまに衝突することもあるけどみんなで協力して楽しく学校で過ごせて、とても幸せだなと思いました。

このメンバーでの生活はあと少ししかないけど、これからもみんなで協力して楽しく学校生活を送りたいです。



「私のクラスー年B組」

ー年B組 宮下 遥

私のクラスー年B組は私達にとって、初めての中学校のクラスで良かったと思えるようなクラスだと私は思います。ひとりひとりが友達のことを考え、最終的には楽しいと思えるクラスだと思います。私はこのクラスで良かったと思えるような理由を3つ紹介します。1つ目は、全校運動会のことです。ーBはーAと勝負することが多かったのですがなかなかーAに勝つことができていませんでした。そして次に勝負する種目は綱引きでした、勝負する前にみんなで円陣を組み、綱引きに挑みました。「それーそれー」と先生も私達も熱狂しながら綱を思いっきり引きました、なんとその勝負ではーAに勝つことができたのです。みんな揃って喜びました。総合的にはーAに負けてしまったのですが、この綱引きで、ーBの絆がもっと深まったと私は思います。2つ目は、体育のとき、かけ声が活発に飛び交うことです。授業でアタックプレルボールの試合をしているときに、「がんばれー」や「ナイスー」や「どんまい」などが自分のチームに向けて活発に言えていることがとてもいいなと私は思います。言われたら嬉しいし言われたら頑張れる気持ちができると思うので活発にかけ声が出ていることはとてもいいことだと思います。3つ目は、みんなが優しく誰とも仲良くできるところです。ーBの人たちだけではなくーAや、その他の人たちでも仲良く接することができるのが私は本当にすごいと思います。私のクラスー年B組は、友達のことを考え行動ができるクラスです。ひとりひとりの個性・性格が違うからこそおもしろいクラスだと思います。だからこそ、このー年B組で良かったと私は思います。



2年A組

2年A組 小澤 康生

僕は昨年もクラス紹介をしました、今年もクラス紹介をやることになりました。去年と似たような内容になってしまうかもしれませんが去年より少し違う文で特徴を紹介できたら良いと思っています。まず、一つ目はこのクラスはとも賑やかです。これは良いところ悪いところ両方で捉えることができます。良いところとして捉えると僕のクラスは話し合いが盛んで意見がとて多く出てみんなコミュニケーション能力が高いということです。ですが悪いところで捉えると、少しうるさく、人の話を聞いていない部分があるということです。ですが全員がうるさいというわけではなく、名前は伏せますが特に数人が城山動物園にいても違和感がないくらい賑やかでつかお先生もいつも大変そうにしています。二つ目はとてもユーモアがあるところです。面白いかはともかくとして、僕のクラスの人(一部)はいつもダジャレなども連呼していて、いつも明るい空気してくれます。みなさんも見た通り今年の有志発表でコントもしてくれました。それに乗じて心なしか一年生の時よりつかお先生がダジャレを言う場面が多くなりました。場は凍えますがつかお先生もダジャレを言うくらい僕のクラスはユーモアが溢れていていつも笑いが起きています。3つ目はつかお先生がいるということです。これまでに何回も登場しましたが、僕のクラスの先生はイケメン度100% (自称)でこの学校で一番面白い(可能性が無いにしも非ず)つかお先生です。これまでの文章を読んだら分かると思いますが、つかお先生は僕のクラスメイトの抑制とお笑い役の二つの役を兼ねています。つかお先生がいなかったら何度学級崩壊がおきていてもおかしくありませんね。コンナニスバラシイセンセイなんてホカニナイヨ⁸心の底からそう思っています。僕のクラスはこんなクラスです。興味がある人は遊びに来てください。みんな笑顔で誰でもウェルカム、そして皆誰でもファミリーです!



クラス紹介

2年B組 岩本羽叶

私達、二年B組は一人ひとりが違う性格をもった楽しいクラスです。そんな二年B組を紹介します！

1つ目は授業のことです。授業中は先生に注意されるくらい話してしまう時もあります。けれど、国語や社会や英語で問題の答えや意見を共有したり、数学で同じ問題を一緒に考えたり、理科で一緒に実験したり、席の周りの人や友達と話し合ったり考えをまとめたりしています。

2つ目は璃翔祭のことです。6月の璃翔祭では体育祭がありました。体育祭は2年生のA組対B組で戦いました。3つの競技の中で障害物リレーが特にクラスが一つになった競技だと思います。理由は、クラス全員が走っている人の所を追いかけて応援していたからです。自分の番が終わったとしても走っている人をみんなで追いかけてミッションがある時たくさん声を出していました。私が走る番のときも応援してくれたので、さらに頑張ろう！と思うことができました。

最後に私達のクラス目標について話したいと思います。2年B組の学級目標は「LOU」個性豊かな明るいクラスです。「LOU」の意味を知っていますか？「LOU」は大爆笑という意味です。私たちのクラスにとっても似合っている学級目標だと私は感じています。なぜなら、一日の中で大爆笑は、何回も起こっているからです。例えば、休み時間や給食の時間で一人が面白い事を言うともみんなが大爆笑します！

私はクラス替えをして正直、不安でしたが今はそんな不安な思いが全くありません。またクラス替えがありますが、後悔のないように楽しく過ごしたいと思います！



「心温まる3ーAでの生活」

3年A組 戸田 天衣碧

私のクラスは一言でいうと、「誰かが埋もれることのないクラス」だと思います。ありきたりのような気もしますが、そんなクラスを私は素敵だと思います。そこで、誰かが埋もれることのないクラスである理由を私なりに考えてみました。

まずは、「クラスの皆が周りをよく見ているから」です。私のクラスは本当に本当に周りをよく見ている人が多いです。毎日と言っていいほど3ーAの周りを見れる友達の多さには驚きます。例えば、私のクラスでは給食のときに、何人もの人が連日、お汁などをこぼしてしまいう現象がありました。ですがそのとき、近くにいる友達が率先して動いていて感動でした。他にも、掃除のときに休んでいる人の机を運んでくれる友達、いいところを見つけたらその人に伝えてくれる友達などです。行動や言葉にしてくれるクラスの皆をとっても尊敬します。

他には、「一人一人を尊重してくれるから」です。班で話をしているときも、全員が会話のキャッチボールに参加できるように、それぞれの意見をしっかりと聞いてくれます。これは皆が一人一人を尊重しているからだと思います。それ故、私のクラスは、みんなの仲が良いです。クラスでいろいろな笑いが起きることが多い印象です。「特定の人だけが」というよりもクラスの皆で笑っています。一つの事柄について皆が見ているし、共感力があるからですよね！今年から始まった璃翔祭でのクラス発表でも、最初はどうなることかと思いましたが、ダンスも次第にまとまり、リハをするときも皆が盛り上げてくれて、踊っていても、見ても、笑いが絶えず、楽しい雰囲気になっていました。

これらが私なりに考えた「誰かが埋もれることのないクラス」である理由です。皆さんに伝わったでしょうか？

私は最初、どんなクラスになるか不安でした。だけど、良いクラスだななんて思っていたら、もう3ーAでの一年間が終盤に差し掛かっています。それどころかもうすぐ高校生です。残りの中学校生活を皆で楽しみたいです。楽しい一年間でした。3ーAの皆が大好きです。



「3年B組」

3年B組 安藤日向

あなたのクラスにはどんな人がいますか？いつもみんなを盛り上げてくれる人、何事も真面目に取り組む人、友達と話すのが好きな人…

たくさんの方がいるのではないかと思います。個性を持った人が一度に集まる場所の一つ。それがクラスだと思います。しかし、人が集まる場所にはトラブルも楽しいことも同時に起こるものです。だからこそクラス替えというのは学校生活の一大イベント！私もどんなクラスになるか予想がつかないまま新学期を迎えました。始まってからの1〜2ヶ月は正直普通のクラスかなと思っていました。クラス目標がみんなが点として独立しながらもそれぞれが助け合って一つの大きな模様となる「ドット」というとてもよいものに決まったのもこの時期でした。

そして、私のクラスへの認識が変わったのは7月の璃翔祭のとき、クラスマッチでのことでした。その日のクラスは朝のときから少し違い、個々から、クラス全体から璃翔祭へのワクワク感が伝わってきました。学年1シャツを着て、クラス色のはちまきを巻き、開会式では司会の生徒会役員の人たちの熱意ある言葉を受け、さらにテンションが高まった頃、クラスごと円陣を組みになりました。体育館にはいたるところから様々な掛け声が聞こえてきました。私たちのクラスでもルーム長や先生が掛け声をしてくれました。そこで聞こえてきた声「絶対勝つぞー」「オーー」は本当に絶対勝てると確信を持たせてくれた、3年B組の団結力がとくに表れているものでした。私はここでやっと「ドット」の体現するものを目の当たりにして、より、クラス目標が好きになりました。

普段は賑やかな人も静かな人も、あの人も私も、それぞれがそれぞれの場所で楽しみ活躍する。そして、いざというときに見える団結力。これがこのクラスのよさだと私は今、自信をもって言うことができます。中学校生活3年間の最後となるクラスがこのクラスでよかったこと、3年間でこんなに個と集団のメリハリが大きいクラスはなく、楽しかったことをクラスの人々に伝えたいです。

最後に、このクラスをつくってくれたみんな、先生方に感謝をしたいと思います。ありがとうございました！

